

システム移行標準日程表

パソコンシステムではオフコン等のシステムとは異なりMMI (マニピュレータ) がより優れており、使い手の方によってそのインターフェースは多岐に渡ります。そこで弊社ではプロトタイプでの運用期間を設けてより優れたMMIの向上を目指しております。是非、我儘なご要求がより優れたMMIを生み出します。お試しください。

また、本稼動時期としましては決算前1~2ヶ月前稼動を基本としております。

新システムにおける決算処理を推奨しております。

以下にシステム移行標準日程表を掲載しておりますので、ご確認ください。また、当表は標準ですので、お客様の状況により変更となりますので、ご了承下さい。

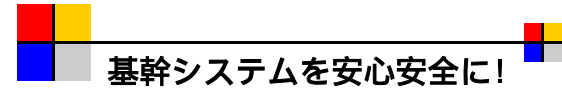
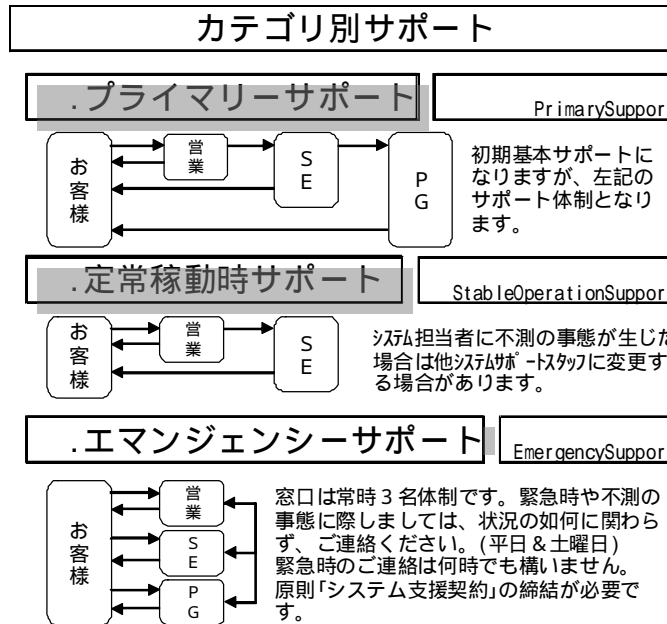
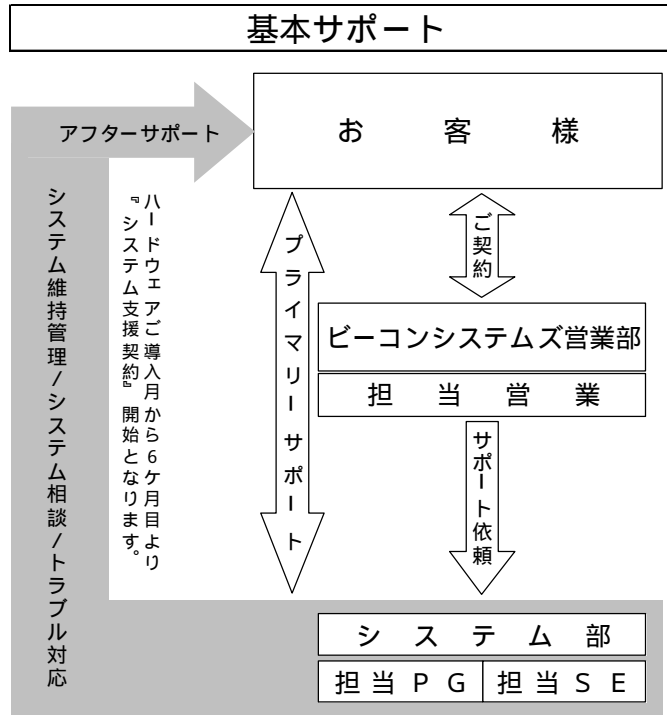
顧客名	業務名	作成者	新規作成	2004.08.01	STEP	基本設計	計画書
	標準システムご導入日程表	反町	清	変更日	PROJECT	ABC-SYSTEM	

大日程

日程名称	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
01 基本打合せ												
02 提案・見積・ご発注		ご提案 御見積 ご発注										
03 基本設計												
04 詳細設計												
05 プログラム作成												
06 ハードウェア										発注 納品 設置		
07 プロトタイプPG納入												
08 プロトタイプ検証												
09 プログラム納品												
10 オペレーション指導												
11 データ移行 マスタ登録												
12 業務稼動												
13 業務本稼動												
14 ソフトウェアリース		初回リース開始					中間リース開始			最終リース開始		
15 ハードウェアリース										ハードウェア開始		
16 前システム撤去												

BeaconSystems

システムご導入後サポート体制



システムサポートのご案内



弊社がシステムサポートするデータベース・データベースの機能・管理・信頼性の元でのネットワークのあり方と使用言語の説明を通して、システムご導入のポイントと標準日程をご紹介しますし、そのサポート体制をご紹介します。

弊社のサポートコンセプトの一端をご理解戴ければ幸いです。

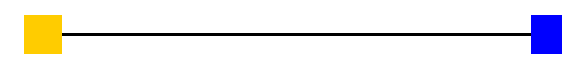
データベース
弊社が推奨しているデータベースをご紹介・説明をしています。

SQLServer2000による基幹業務アプリケーション
管理ツール及び信頼性について御説明します。

SQLServer2000体系
Microsoft社におけるデータベース体系を図で説明

ネットワーク
データベース接続ネットワークについて説明

言語
弊社がご提供する言語とデータベースとのネットワークを通してご説明します。



データベース

お客様からの特別なご指定が無い限り、使用データベースはMicrosoft社製SQLServerにてご提供させて頂き戴きます。

SQL Server 2000 とは?

SQLServer2000は、小規模なシステムから世界規模の企業を支える巨大なシステムまで、あらゆる規模のシステムに対応する高性能なリレーショナルデータベース管理システムです。SQLServer2000は、さまざまな先進のテクノロジーと世界最高レベルを誇るスケーラビリティを備えており、企業や組織の意思決定を支えるデータウェアハウス、大規模なオンライントランザクション処理 (OLTP)、e-コマースなどのインターネットビジネスに最適なデータベースプラットフォームです。

特に大規模なシステムでSQLServer2000EnterpriseEditionを稼働させる場合、大容量のメモリと複数のCPU、優れた分散アーキテクチャなどを利用して、システム全体の可用性と信頼性を飛躍的に向上できます。さらに、SQLServer 2000は、XML機能によるインターネットへの完全対応と新しいデータ分析機能による基幹システムとWebソリューション融合の実現など、新たなビジネスチャンスを生み出す強力なデータベースソリューションを提供します。

エンタープライズ レポートینگ

現代の厳しい市場競争で成功を収めるためには、企業は組織の壁を越えて情報を拡大し、顧客、パートナー、サプライヤーとタイムレスかつリアルタイムに連携する必要があります。SQL Server 2000 が標準で搭載する Reporting Services を用いると、企業はデータを共有可能な情報の形に変えて、TCO を低く抑えながら洞察に満ちた意思決定をタイムリーに下せるようになります。詳細については、「SQL Server 2000 Reporting Services」を参照してください。

データ ウェアハウジング

企業では、適切な意思決定を迅速に行うためにさまざまな情報ソースをすばやく分析し、アクセスできるデータウェアハウスの構築が求められています。データウェアハウスでは、膨大な情報を収集し、大規模かつ集中化されたデータストアを活用することで、企業の意思決定を容易にするデータ分析機能を提供します。SQL Server 2000 が標準で搭載するデータ変換サービス (DTS) と分析サービスは、データウェアハウスの構築に必要な異種データの統合や高度な分析機能を提供します。詳細については、「SQL Server 2000 によるビジネス インテリジェンス」および「ビジネス インテリジェンス ソリューション」を参照してください。

電子商取引

電子商取引ソリューションでは、世界中のユーザーが e-コマース サイトに 24 時間アクセスするため、大きなトランザクション負荷を効率的に処理する機能や低いダウンタイムがデータベース アプリケーションに要求されます。さらに、既存システムとの相互運用性と変化するビジネス条件に対して迅速に対応するためには、容易に開発できる柔軟性も併せて必要です。SQL Server 2000 は、電子商取引に必要な高いスケーラビリティと高信頼性を提供しつつ、XML や HTML などのインターネットの標準をサポートすることで、より柔軟な相互運用性と開発環境を実現します。詳細については、「SQL Server 2000 による電子商取引」を参照してください。

基幹業務アプリケーション

SQL Server 2000 は、対称型マルチプロセッシング (SMP) 対応のハードウェアにおいても、柔軟なスケーラビリティを發揮し、優れたデータベースの保守性を提供します。SQL Server 2000 を使用することで、信頼性とスケーラビリティを強化し、運用と管理を簡素化することができ、基幹業務アプリケーションを容易に短時間で導入できます。SQL Server 2000 は、データベースを集中管理できるだけでなく、さまざまな管理作業と調整作業を自動化できるので管理者の負荷を大幅に軽減します。SQL Server 2000 は、これらによってカスタマー リレーションシップ マネジメント (CRM)、ビジネス インテリジェンス (BI)、エンタープライズ リソース プランニング (ERP)、その他の基幹業務アプリケーション ベンダーと顧客に最適なデータベース プラットフォームを提供します。詳細については、「SQL Server 2000 による基幹業務アプリケーション」を参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/sql/evaluation/overview/>

SQLServer2000 による基幹業務アプリケーション

最高の管理ツール

データベースの複雑化が進んだことで、ITの所有コストが大幅に増加しています。そのため管理者は、企業データからより多くのBIを引き出す方法を見つけるところか、パフォーマンスを向上させるためにデータベースのチューニングにほとんどの時間を割かななくてはならない状況に迫られています。そこで SQL Server 2000開発チームは管理と保守の容易なデータベース製品を開発しました。

業界屈指の信頼性

グローバルエコノミーの到来によって、基幹業務アプリケーションに対する驚異的な需要が新たに沸き起こっていますが、そのアプリケーションは世界中に散らばるユーザーのニーズを満たせるように対処できるものでなければなりません。つまり、24時間レベルの可用性が不可欠となるわけです。SQL Server 2000は、最高レベルの信頼性と可用性を發揮できるように開発されました。大手企業はすでに驚くべき数字を達成します。その1社であるDell.comは、年間で99.9985%の可用性を報告しています。

新世代の基幹業務アプリケーションに最適なプラットフォーム新しいデバイス、新しいテクノロジー、新しいアイデアが、これまで想像もつかなかったスピードでエンタープライズを変えつつあり、またビジネスプロセスオートメーションアプリケーションの台頭が、新しい重要なトレンドを生み出しています。これらのアプリケーションは、より優れた効率性と生産性をもたらす、事業運営に付随する多数のありふれた作業から従業員を解放します。SQLServer2000は、e-ビジネス革命がもたらすあらゆるチャンスをフル活用できる次世代アプリケーションを構築を可能とします。

SQLServer2000 体系



ネットワーク

端末 (パソコン) からSQLServer (データベース) への接続はインライン・オンラインとの区別はありません。(Microsoft基本設計思想)ネットワーク接続認証さえ出来れば接続可能です。

ADSLの登場により常時接続時代となった現在ではインラインに比べオンラインストレスは全く無くなりました。(パソット:「BS'sが提供するネットワークとセキュリティ」を参照下さい。) スクリプト定義を行なう事により立地に関係なくリモートオンラインが可能です。

また、スクリプト定義は非公開情報となりますので、セキュリティの一つと言えます。他にセキュリティとして自社にファイヤーウォールを構築するか、ルーター装置を組み合わせてブリッジにすることで高度なファイヤーウォールを構築可能となります。(通常のプロバイダーのレベル)

一般的な既存システムとしましてはNTT通信サービス商品では「フレッツグループACCESS」をご導入されまると同様に高度なセキュリティを構築できます。(別途費用が掛かります。)

弊社がご提供コスト低減努力としてリモートメンテナンスをお願いしております。同様なセキュリティネットワーク上での、迅速な対応を可能としています。

言語

開発言語としましてはSQLServer2000と親和性の良いMicrosoft製品に統一し、システム提供しております。また、オープン化の流れの中で、かつてのCOBOL開発人口以上の人間がMicrosoft製品での開発に携わっております。MS ACCESSをベースにVisualBasicApplicationsやVisualBasic等にてPG開発し、場合によってはCOBOLでの提供も行なっております。

SQL Server 2000 を活用

